

フルート、チェロ、ピアノ

音楽の夢想

本場ドイツから癒しの風を

古賀教子 フルード

ゲオルギー・ロマコフ チェロ
ラドスラフ・クレック ピアノ

ベートーベン:三重奏曲ト長調

ゴッペル:3つの水影

J.S.バッハ:ラルゴ・マ・ノン・タント

デュルフレ:前奏曲、レチタティーボと変奏曲

プロツホ:コンチェルティーノ



2015年7月30日 (木) 19時開演
名古屋YWCAホール

名古屋市中区新栄町 2-3 地下鉄「栄」東5番出口より東へ2分

(愛実の会・名古屋ダルクチャリテイー)

主催 愛実の会 TEL 052-693-5897 後援 みどりファミリー
090-1754-0104(島) 入場料 1500円 障がい者と付添無料

古賀敦子（フルート） Atsuko Koga 福岡市生まれのフルーティスト。桐朋学園音楽科高等学校卒業後、パリ国立高等音楽院フルート科に入学し同科を満場一致の1等賞で卒業。同音楽院のトワジエム・シークルに進む。在学中、パリ・ルーテス国際コンクール、ブカレストのジュネスミュージカル国際コンクールその他で優勝。バルセロナのマリア・カナルス国際コンクールや東京、イタリアで二位入賞するなど、数多くの賞を得て様々な音楽フェスティバルに招待される。ソリストとして、これまでにマグデブルグフィルハーモニー交響楽団、中央ドイツ室内交響楽団、コーブレンツ・ヴィラムジカ、ロッシェニ・カルテット、ブカレスト・ジュネスミュージカル交響楽団、九州交響楽団、アスカニア室内交響楽団等とも数々のコンチェルトを行う。毎年“シュトラッセ・デア・ロマニカ”でゲスト・ソリストとしてドイツの各地で公演。その他、ヨーロッパ国営放送のテレビラジオに定期的に出演している。現在に至るまで、日本、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス、ノルウェイ、オランダ、モロッコ、アメリカ、ルーマニアそしてオーストリアの各地でソロと室内楽で活躍している。

ゲオルギー・ロマコフ（チェロ） (Georgiy Lomakov) ウクライナ生まれのロシア系チェリスト、ゲオルギー・ロマコフは、驚くべき数の賞を得ている。故郷のオデッサにて6歳でチェロを始め、2年後にはウスベキスタン国際コンクールで優勝。9歳でキエフの有名なりセンコ音楽学校に引き取られ、ユーリー・ポランスキーとイェレナ・チェルヴォヴァに師事する。12歳の時にクロアチア、ザグレブのアントニオ・ジャンニグロ・コンクールで優勝。13歳でドイツに渡り、ニュルンベルグフィルのソロ・チェリスト、ライナー・ファウペルの元で研鑽を積む。この集中勉学中にも更なる成功を博し、ユーゲント・ミュージツィエルト優勝、チェコのヘラン国際コンクール優勝、またライブツィッヒ・ヤング・コンサート・アーティストのファイナリストになる。ニュルンベルグ・アウグスブルグ国立音楽大学を最高点で卒業。その間彼はスイスのフェアビア・フェスティバルにてリン・ハレルとギャリー・ホフマンに指示し、最高チェリストとしてフィルメニッヒ賞を贈られた。その後、ボストンのニュー・イングランド・コンセルヴァトリーにてローレンス・レッサーに師事し、2005年に最高点で卒業した。

アメリカ滞在中にダラス・テキサスでシューマンのチェロ協奏曲でデビュー。ヨーロッパでも、ドイツ、オーストリア、ポーランドにて数々のリサイタルを行う。ソリストとしてはニュルンベルグフィルハーモニー交響楽団、ニュルンベルグ・シンフォニカー、ハーゲン・フィルハーモニー交響楽団、ダラスのリチャードソンフィル交響楽団、ベルンのロマンド室内交響楽団、ミュンヘンのブルーテンブルグ室内交響楽団、等と共演。ソリスト・ディプロマを、2005年から2007年にかけてミュンヘン国立音楽大学にてヴェン・シン・ヤングの元で得た。オーストリアのブラームス国際コンクールにての室内楽部門での優勝後、ドイツミュージックレーベン財団の奨学生も経る。リン・ハレル、ガリー・ホフマン、ムスティラス・ロスとロポーヴィッチらに「期待の巨匠の器」と賞賛を得る。

ラドスラフ・クレック（ピアノ） (Radoslaw Kurek) ポーランドのピアニスト。グダニスクの音楽アカデミーにてカタジナ・ポボヴァ・ジドロ女教授のクラスに通い、荣誉賞を得て卒業。2008年から2009年までは彼女のクラスの助教授も務めた。現在はブイドゴシュチュの音楽アカデミーで教職を取っている。数多くのピアノと室内楽のコンクールで受賞し、2001年からこれまでにエストニアでのショパンピアノコンクールで3位、ブルガリアのヴラディゲロフ国際ピアノコンクールで4位、ポーランドの室内楽コンクールで優勝、イタリアの“ヴィットリオグイ”国際室内楽コンクールでファイナリスト、そして、2008年にはオーストリアのブラームス国際コンクールで、チェロのゲオルギー・ロマコフとのデュオで優勝している。2012年にはダブリン・ピアノコンクールでモーツァルト作品のベストプレイヤーとして“ブリジット・ドゥーラン特別賞”を受賞した。現在までにオーストリア、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、スペイン、またポーランドの都市、街のあちこちでソリストとして、また室内楽奏者として定期的リサイタルを行う。また一方、ラドスラフ・クレックはDUX, Soliton, BeArTonそしてミュンヘンのバイエルン放送で録音も行っている。今回がクレックの初来日となる。